

鱗 河

阿賀には、懐かしい風景と
新しいロマンがある

第11号

http://www.aganogawa.jp/
E-mail info@aganogawa.jp

発行 2017 / 8月下旬
阿賀漁協組合報

発行 阿賀野川漁業協同組合 / 事務所 阿賀町石間 3 8 8 1 - 4 ☎0254-99-1031 FAX1035



今に風情

- * 第五十八回通常総代会開催
全議案異議なく承認される
- * ふ化場整備充実 稚魚生産量倍増！
- * 羽越災害あれから五十年
災害は忘れたころにやってくる
- * 特措法 どうにかならぬか…
カワウと外来害魚 誰のせい？

《水郷の花嫁さんは、船で行く》

横越コミュニティ協議会主催のこのイベントは、かつてはこの地域で行われていた「舟による嫁入りの儀式」を現代に復活させたものです。新郎新婦は川岸に集まった方々から盛大な祝福を受けながら、小舟で小阿賀野川を下り、北方文化博物館内で結婚式を執り行います。

(写真/横越コミュニティ協議会より)



アユ稚魚放流準備作業

3月初旬に、1g程度の稚魚を受入れ、凡そ3か月間育て、いよいよ放流の日である。

作業を手伝う理事の皆さんの顔も、我が子同然にほころんでいた。
(6月6日岩谷ふ化場)

サケ稚魚放流風景

安野川、阿賀野市百津地区での放流は、近年恒例となっている。地元園児や増殖にご協力戴いた関係者と盛大に放流を行った。ここ数年遡上も頻繁で、鮭漁従事者も増加傾向である。
(3月26日百津地区で撮影)

閑話休題

諸外国は優れた神話と、そこから育んだ日本の叙情歌に、今こそ学ぶべきではないだろうか。
(担当/村山)



「月雪やこんこん」 「月雪はズンズン」 「積り」 など、目に見えない光景を、耳にも聞こえない音を、心で感ずる特異な感性は、叙情歌が育んだ日本の宝であり、日本人にしかない民族的文化と言って過言でない。
近年、殺伐とした事件が今目的に起こっている「無差別テロ」や「一国の工ゴ」で世界を震撼させている国に日本の心を輸出できないものかと切に思う。如何なる理由がそこにあるかとも人の命を奪う権利などあるはずがない。

「月春の小川はサラサラいくよ」余地はない。
世界にも、優れた神話や叙情歌はあると思うが、日本人の叙情性は、揺るぎのない民族的な精神として定着してきたもので、そこに思想、宗教のつけ入る余地はない。
私は、「高野辰之」の詩が大好きである。「ふるさと・春の小川・春が来た」など挙げれば枚挙に暇がない。その詩の一片一片がどれも風情に溢れ、聞く人の心を掴んで離さない。
日本人の心には何時も故郷の風景があり、そのことが人間形成に大きな役割を果たし、人として一番大切な思いやりの心を醸成してきた。この蓄積が、世界の人々から民族として尊敬される最大の所以である。

世界は日本の叙情歌に学べ

日本を象徴するものはと問われたら私は即座に「叙情歌」と答えるであろう。
近年、命に瀕した災害等で、日本人の立ち居振る舞いに世界の人々は驚嘆している。世界で最も美しい民族と称賛している国々も多い。それは「神話やおとぎ話で育った大和民族のごく普通な日常である。この根底にあるのが、誰もが口ずさんだ叙情歌である。



総会の様子

第58回通常総代会開催される

平成29年6月18日(日) 五泉市福祉会館

総代総数96名の内、出席総代数78名(本人出席58名、委任状17名(内代理4名)、書面議決3名)で、13の議案を審議し、全て承認されました。

平成29年度予算のあらまし (前年度対比 111千円減)

【収入】 (単位:千円)

賦課金	6,370	組合員910人×7,000円
特別賦課金	3,743	さけ、さくらます特別賦課金
受入漁料	468	遊漁証売上配分金
受入補助金	983	カワウ・外来魚駆除対策費、阿賀町補助金等
指導事業雑収益	8,000	漁業補償金
稚魚代(さけ、あゆ等)	1,740	新潟県、県内水面漁連買上分等
その他	608	申請手数料等
合計	21,912	

【支出】

人件費	6,322	役員報酬、職員・臨時職員給料等
旅費交通費	984	旅費交通費
事務費	987	消耗品費、通信費、リース料等
業務費	875	会議費、連絡員手当等
増殖経費	420	さけ稚魚購入代
減価償却費	203	事務所、ウライ施設、岩谷ふ化場
繁殖保護費	6,790	稚魚代金、さけ・あゆ等の飼育経費、さけ・ます供卵代等
事業外費用	3,278	補償金地区返還金等
その他	2,053	法人税、ファックス手数料、岩谷ふ化場資材代等、予備費
合計	21,912	

平成28年度収支決算状況 (△1,683千円)

(単位:千円)

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
賦課金	6,510	組合員930人×7,000円	人件費	6,277	役員報酬、職員・臨時職員給料等
特別賦課金	3,721	さけ、さくらます特別賦課金	旅費交通費	900	旅費交通費
受入行使料	120	やな、釣堀、小阿賀野川増殖負担金	事務費	948	消耗品費、通信費、リース料等
受入手数料	193	申請手数料等	業務費	963	会議費、連絡員手当等
受入漁料	1	遊漁証売上配分金	支払賦課金	491	県内水面漁連賦課金
受入補助金	985	新谷川アユ放流事業補助金、カワウ・外来魚駆除対策費等	増殖経費	630	さけ稚魚購入代 30万尾
指導事業雑収益	5,885	漁業補償金	施設費	542	光熱費、施設管理費等
稚魚代(さけ・あゆ)	1,099	新潟県買上、県内水面漁連買上	減価償却費	209	事務所、ウライ施設、岩谷ふ化場
その他	404	預金利子、雑収入	繁殖保護費	6,577	稚魚代金、さけ・ます・あゆ飼育経費、さけ・ます供卵代等
			事業外費用	2,020	補償金地区返還金等
			法人税等	180	法人税等
			その他	864	ファックス手数料、岩谷ふ化場資材代等
合計	18,918		合計	20,601	

予算との比較

収入…遊漁券の売上配分金29万円減、さけ・あゆ種苗代29万円増、指導事業雑収益(漁業補償金)311万円減、雑収益5万円増、全体では310万円の減。
 支出…旅費交通費18万円減、増殖経費21万円増、施設費4万円減、雑費28万円増、繁殖保護費72万円増、事業外費用163万円減、全体では142万円の減。

～地区総代数の変更～

総代数が変わる地区 ※来年の改選時から

旧		新	
地区名	人数	地区名	人数
日出谷地区	1	日出谷地区	1
鹿瀬地区	1	鹿瀬地区	1
谷花地区	4	谷花地区	3
三川地区	8	三川地区	9
笹堀地区	2	笹堀地区	3
新関地区	4	新関地区	3
川内地区	9	川内地区	10
木越地区	3	木越地区	2
不動堂地区	3	不動堂地区	4
分田地区	1	分田地区	2
笹神地区	1	笹神地区	2
豊栄地区	3	豊栄地区	2

※変更のない地区は従来通りです。

組合員募集

〈組合への加入〉

定款に定められた地域内に住所を有している人ならばどなたでも入れますが、何処かの地区へ所属することが義務付けられています。地区の推薦、承諾を戴き本組合の資格審査を受けて組合員となります。

(一部加入エリア規制があります)

※詳細は☎0254-99-1031までお願いします。

遊漁料

18歳以下 無料になる

現行の遊漁料は、小中学校生徒は半額、高等学校生徒は全額でしたが、遊漁規則の変更により、来シーズンから18歳以下は無料となります。※共同漁業権による5単協で決定

H28遊漁証一括販売の収支報告

(一括販売は平成27年度から実施)

【収入】 (単位:円)

販売売上金	4,122,307
預金利子、雑収入	33,492
合計	4,155,799

【支出】

繁殖保護費	407,966
増殖費(義務放流経費)	2,215,303
旅費交通費	88,500
法人税等	370,000
29年度放流割負担金	203,668
その他	81,800
合計	3,367,237

差引金額(剰余金) 788,562

※剰余金は、各漁協の組合員数に応じて配分一人当たりの配分額500円

※阿賀協の配分額は、500円×937人=468,500円

外来魚対策

現在、県内の主要な河川湖沼には、ブラックバス類、ブルーギルなどの外来魚の生息が確認されています。これらの外来魚は、強い魚食性と繁殖力を持っていることから、新潟県内水面漁場管理委員会が採捕後の再リリースを禁止する委員会指示を発令いたしました。その後、国によって「外来生物法」が、平成十六年に制定され、オオクチバス、コクチバス、ブルーギルについては、特定外来生物に指定されました。漁業組合では、これらの対応として、一部の助成を受け駆除活動を実施し、在来水産資源の保護に取り組んでいます。

阿賀野川の現況としては、平成二十三年の福島・新潟豪雨によるダム放水や決壊によってダム湖に生息していた外来魚が下流域に分散し、阿賀野川下流域で飛躍的に拡大しています。

新潟県内水面水産試験場では、生息する水域に合わせた駆除方法を研究しています。

カワウの現状と対応

一部県水産課資料参照

現在、新潟県のカワウの営巣は、九か所で夏期には千二百羽が各河川に分布している。当阿賀野川では、旧鹿瀬町の河川敷に大規模営巣がある。

春から夏にかけて作られる営巣は、内陸部に分布していることから内水面漁業や養鯉業者に深刻な被害を与えている。猟友会による銃撃駆除にも限界があり、群れを分散することによる拡大も確認されている。メスの捕獲やドライアイスによる繁殖抑制など試みているが、費用対効果など、経済的な問題も出てきている。サケ・マス・アユ・イワナ・ヤマメの稚魚放流も、繁殖を助長しているのが現状である。

鳥獣被害防止特措法が、平成十九年に制定されている。これは現場に最も近い市町村が農林水産業対策の中心となっており、主体的に取り組めるよう基本指針を示したものの、実際には、極めて使い勝手の悪い法である。

その主たる中身は、被害防止対策計画を作成した当該市町村に、国等が財政上の措置をし、各種の支援策を講ずるという内容だ。

しかし実際には、漁協関係者が主体にならないと、行政は腰を上げない。

そもそもカワウが増えたのも、外来魚が増えたのも、漁業組合のせいではない。漁協は漁場を荒らされた被害者であり、その被害者が、労力も費用も負担して対策にあたるとは本末転倒ではないか。

河川の生態系が今崩壊しようとしている。一漁協の対応策で対処できる問題ではない。県内の物資両面にわたる抜本的手立てが急がれると思うが。

岩谷ふ化場の経緯

《平成27年度》

- ・増殖事業を組合単独で実施することを決定。
- ・岩谷農産物加工生産組合が管理している「管理棟・養殖池」を借りて増殖事業を始める。

①サケの増殖事業

- ・初年度のため生産目標を30万尾とし、新津ウライ場から受精卵を搬入して飼育。281,431尾を放流。
- ・計画尾数(80万尾)の不足分は、稚魚50万尾を購入して放流。

②アユの増殖事業

- ・アユの中間育成を行い、30,399尾を放流。

《平成28年度》

①サケの増殖事業

- ・サケ不漁のため、新津ウライと現場採卵では、採卵数が不足なので発眼卵等を購入して飼育。516,893尾を放流。
- ・計画尾数(80万尾)の不足分は、稚魚30万尾を購入して放流。

②サクラマスの増殖事業

- ・岩谷ふ化場で採卵して飼育。37,481尾を放流。
- ・三面川鮭産漁業協同組合に親魚を提供し、採卵・飼育を委託。委託分の稚魚30,143尾を放流。

③アユの増殖事業

- ・アユの中間育成を行い、39,823尾を放流。
- ・オトリ用のアユを飼育。※試験的

《今後の取組み》

岩谷ふ化場は、養殖池が少ない中でサケ・サクラマス・アユ等の飼育を有効的に使用して、年次的に増殖量を増やすことと、ヤマメを一年通して飼育できるように努める。



岩谷ふ化場全景

あの悪夢から五十年 忘れてなるか羽越水害

飯豊山系の西側に集中した記録的豪雨は、山形県小国町と本県の関川村・新発田市・旧胎内町・旧三川村(現阿賀町)を直撃した。死者、行方不明者一四二人(新潟県一三四人、山形県八人)この内の一八名が旧三川村での犠牲者である。

物損被害の多かったのは、荒川水系・胎内水系・加治川水系であったが、関川村(荒川)と旧三川村(阿賀野川)に死傷者が集中した。いずれも未明に起きた山津波が大きな要因となっている。

旧三川村では、平成元年に中学校の校長先生の発案から、この甚大な大水害によって失われた御霊の鎮魂歌として、又、母なる川への祈りを込めた賛美として、平成二年「合唱組曲阿賀野川」が誕生し、平成二年奇しくも、祥月命日の八月二十九日に三川中学校の生徒によって初演された。以来、生徒・合唱団によって現在も歌い継がれている。

※関川村の「神輿大蛇(八二・八m)」は、災害月日に因む数字である。



【石間地区】



【石間地区作業の様子】

写真/インタビュー「阿賀野川を語る」より

外来害魚ってなに?

マ×知識

- ※内水面漁業調整規則と漁場管理委員会の適用範囲は、県内の河川・湖沼に適用され、それ以外の私有水面には適用されません。
- ※再放流の禁止の委員会指示は、釣った後の再放流を禁止したもので、釣る行為自体を禁止したものではありません。ルールを守って楽しい釣りをしましょう。
- ※釣った外来魚は、釣り人が責任を持って処理しなければなりません。やむを得ず処理できない場合は、最寄りの漁協に連絡してください。
- ※ブラックバスは、スズキの仲間で、白身でおいしい魚です。しかも老化を防止するアミノ酸であるタウリンが、淡水魚としては極めて多量に含んでいます。活締め、冷凍処理すれば立派な健康食材となります。

【問合せ先】 ☎0254-99-1031



オオクチバス



ブルーギル

河川工事に喝!

管理委員長/渡辺政廣

七月に入ってから、河川の増水により、二箇所の工事現場でトンパックが流されるという事故があった。トンパックの中身が流されたのであれば、河川に著しく悪影響を与えるので、安易に流されたではすまされない。工事説明では、濁水対策をして施工すると言っているが、対策が疎かになっていたり、濁水対策をして施工する小河川では、一気に増水するので対応が難しいことは理解できるが、想定外で無く、想定内で対応してほしい。

もう一件は、アユの時期なのに川が濁っているとお知らせがあったので、業者に連絡を取り、濁水対策をお願いしたと事務局から報告を受けた。その後、現場を見に行ったところ、極力濁さないように対策していた。それなら、最初から施して工事を行うべきではないか。



流されたトンパック

鮎(ニズ)の到来

増殖委員長/権瓶文吉

今年の「放流量は、産地は？」釣り人のニズは予測不能な天然遡上よりも放流に期待するのも無理はない。

人口増殖による闘争心の低下、小型化、この事は以前から指摘されてきているが天然遡上のみに戻すとの試みは国県の方針、当然、理解されないだろう。三十年前を思い起こせば、釣竿をひたたくような友釣の感触。全国でも有名である「巨鮎の阿賀野川」その名前ははずこへ、福島・新潟水害での被害で益々河川環境は悪化している。

河川改修ではアユが好む淵と瀬を残す様に要望して行きたい。



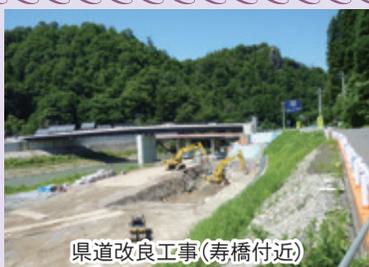
新谷川での釣り風景

どうなっている寿橋の完成は?

平成24年度に事業着手してから完成の期日が見えてこない。

阿賀町役場建設課からの話によれば、完成は30年度でその後2ヶ年をかけて旧寿橋を撤去すること。

現時点での交通止めの期限は、未定とのことですが地元の不便さを早く解消してほしいものです。



県道改良工事(寿橋付近)

遊漁証販売はこちらで

販売店	住所	電話番号
本間釣具店	新潟市西区山田	025-377-1008
上州屋新潟店	新潟市中央区	025-241-5765
風間釣具店	新潟市中央区	025-243-0232
高橋釣具店	新潟市秋葉区	0250-22-0960
トビヌケ新潟店	新潟市東区	025-271-6776
藤井釣具店	五泉市村松	0250-58-6815
せいこの屋	五泉市論瀨	0250-42-5471
関口釣具店	阿賀野市北本町	0250-62-2717
鈴木釣具店	聖籠町蓮野	0254-27-2639
セブイレブン五泉論瀨店	五泉市論瀨	0250-43-6718
セブイレブン五泉船越店	五泉市船越	0250-43-1530
セブイレブン阿賀野保田店	阿賀野市保田	0250-68-5588
セーブオン安田小松店	阿賀野市小松	0250-68-3366
セブイレブン下越三川店	阿賀町石間	0254-99-3234
ヤマザキショップみかわ中嶋店	阿賀町白崎	0254-99-2620
セブイレブン下越津川店	阿賀町津川	0254-94-1177
ファミリーマート津川平堀店	阿賀町平堀	0254-94-5955
山内釣具店	福島県河沼郡会津坂下町	0242-83-2713
物井釣具店	福島県会津若松市中央	0242-22-0028
上州屋キャンベル会津若松店	福島県会津若松市北青木	0242-29-2153

おとり店

販売店	住所	電話番号
長谷川おとり	阿賀町広谷甲	0254-95-2819
阿部おとり	阿賀町五十沢	0254-99-3866
鶴巻おとり	阿賀野市小松	090-8683-6584

※第五種漁業権とは、新潟県の河川、湖沼で水産物を採捕する権利です。漁業法に基づいて、漁業権の対象魚種については増殖義務が課されています。阿賀野川での対象魚種は、あゆ、こい、ふな、うぐい、にじます、いわな、やまめ、かじか、もくずがにです。

平成29年度第五種放流計画及び実績

【アユ】

河川名	放流量	放流場所	放流月日
新谷川	466 kg	阿賀町新谷、細越、五十沢等	29. 5. 30/6. 6/6. . 8
綱木川	31 kg	阿賀町下綱木他	29. 6. 6
中ノ沢川	20 kg	阿賀町中ノ沢	29. 5. 30
谷沢川	66 kg	阿賀町谷沢	29. 6. 6
五十母川	16 kg	阿賀町五十島	29. 6. 6
阿賀野川	366 kg	阿賀町白崎・五十島等、五泉市馬下	29. 6. 6/6. 8
早出川	165 kg	五泉市小面谷、松野、赤海	29. 5. 31/6. 8
杉川	49 kg	五泉市下杉川	29. 6. 6
仙見川	50 kg	五泉市夏針	29. 5. 31
高石川	25 kg	五泉市高石	29. 5. 31
合計	1,254 kg		

【内訳】

中間育成384kg、購入分570kg、委託分300kg、計1,254kg
 (義務放流140kg、組合自主放流614kg、川内地区自主放流50kg、三川地区自主放流70kg、阿賀町80kg、委託放流300kg)

魚種	義務放流量	委託放流量	備考
こい	0 kg	0 kg	※コイヘルペスのため中止
ふな	115 kg	40 kg	11月上旬
にじます	95 kg	30 kg	8月6日
いわな	7,650 尾	3,000 尾	29. 7. 12/7. 14
やまめ	7,650 尾	3,000 尾	29. 4. 10/4. 24/7. 14
かじか	1,700 尾	300 尾	29. 7. 19/7. 21
もくずがに	22.5 kg	15 kg	9月下旬～10月上旬

※阿賀漁協分のみです。

さけ・さくらます放流状況

【さけ】

河川名	放流尾数	放流場所	放流月日
阿賀野川	205,420 尾	阿賀野市新保(渡場床固め下流)	29.3.15/3.16
	100,000 尾		29.3.23
安野川	36,998 尾	阿賀野市百津(第19号橋)	29.3.26
都辺田川	5,033 尾	阿賀野市沢田(南耕大橋下流)	29.3.16
新谷川	30,989 尾	阿賀町五十沢(名知阿美橋)	29.3.15
五十母川	5,010 尾	阿賀町五十島(耕地橋)	29.3.15
早出川	148,402 尾	五泉市水戸野(水戸野橋)	29.3.14
仙見川	31,917 尾	五泉市川内(川内頭首工)	29.3.14
小阿賀野川	53,124 尾	新潟市秋葉区七日町	29.3.15
	200,000 尾		29.3.23
合計	816,893 尾		

【さくらます】

河川名	放流尾数	放流場所	放流月日
新谷川	30,332 尾	阿賀町古館(古館橋)	29.4.10/4.24
五十母川	6,236 尾	阿賀町五十島(耕地橋、三月橋)	29.4.10
長谷川	725 尾	阿賀町長谷地内	29.4.10
早出川	30,331 尾	五泉市水戸野(水戸野頭首工)	29.4.10/4.24
合計	67,624 尾		



イワナの放流

河川懇談会への重点要望

国土交通省へ

- ◆ 河川改修工事の際は、自然再生や環境整備に配慮を
- ◆ 早出川と阿賀野川との出合地点の堆積土砂の撤去を。
- ◆ 小阿賀野川の樋門、開門に資源保護の観点から魚道の設置

河川事務所ホームページより



広告ありがとうございました

どんな事でもおまかせ下さい 真心でお答えします

安田建設株式会社
安田クレーン有限公司
 安田建設株式会社 一級建築士事務所

本社 千959-2221 新潟県阿賀野市保田4225
 TEL 0250(68)3388 TEL 0250(68)3832
 新潟営業所 千950-1112 新潟県新潟市西区金巻45-17
 TEL 025(377)4311 TEL 025(377)4310
 東蒲営業所 千959-4302 新潟県東蒲原郡阿賀町鹿瀬5840
 TEL 0254(92)2161 TEL 0254(92)5282
 E-mail:info@yasuda-k.com URL:http://yasuda-k.com/

AGA 総合造園・緑化工事・施行
 一般土木・芝維持管理
阿賀グリーン
 千959-4605 阿賀町細越665-1
 TEL(0254)99-2725
 FAX(0254)99-3557

新築・リフォーム
 土木工事・外構工事・解体工事等
 ご相談承ります。お気軽にお申し付け下さい。

株式会社 新栄建設
 阿賀町谷沢1040番地 TEL0254-99-2618

WATANABE
 ひとと人をつなぐ総合建設業

株式会社 渡辺建設
 千959-2217 新潟県阿賀野市新保201番地
 TEL(0250)68-1050 FAX(0250)68-5366

小野里建築
 小野里 勝敏
 新築・増改築等のご相談承ります。
 お気軽にお申し付け下さい。
 阿賀野市六野瀬1331
 TEL 0250-68-4699

セーブオン安田小松店
 国道49号線/24時間営業
 阿賀野市小松 ☎0250-68-3366
 ※遊漁証販売しております。

製造・販売元 HOKUETSU
北越産業株式会社
 千959-2221 新潟県阿賀野市保田461-1 TEL0250-68-2423/FAX0250-68-2302
 ホームページ公開中 ▶▶ http://www.hokuetu-metal.com/

(有)MM製作所
 自動車内外装用品製造
 住所/阿賀町細越236番地
 TEL0254(99)2841 FAX(99)2862

安心を包み 生活を彩る

株式会社 権文
 阿賀野市小松576
 TEL 0250-68-4535

FUJITA・YOKOGOSHI
 代表 藤田 正明
 ☎950-0208 新潟市江南区横越中央2-10-8
 TEL 025-385-1177

～東蒲原とともに 創業七十年～
 総合建設業
株式会社 三川土建
 代表取締役社長 阿部 豊
 千959-4606
 新潟県東蒲原郡阿賀町五十沢1302-1
 TEL 0254-99-3584 FAX 0254-99-3822

編集後記

鱗河11号も皆様方のご協力をいただき作成することができました。有難うございました。この数年、アユの解禁日には大雨洪水等で釣りが出来なく、何となくイライラが解消できない、これも天変地異がもたらした結果だろうか？来年こそは良い解禁日となるよう祈ってやみません。(委員長/佐々間)

どうなった阿賀の舟下り

平成二十三年の洪水以降、舟下り、一部を周遊船として就航しているが、目玉である大川下りは中断している。この大きな要因を、河床の状態が悪いことだと関係者はあげている。

果たしてそうだろうか、ここ五年で三回の河床整備を(県、阿賀町助成行っているが、ちよっとの洪水で、又、元に戻り舟下りが出来ない。この費用対効果をどう町も(株)阿賀の里も捉えているのだろうか。阿賀の里も捉えているのだろうか。阿賀漁協は昨年、町、阿賀の里に逆提案を致しました。①洪水に左右されない新たな船の導入②小型船に切り替え陸送で移送する。③運行距離の短縮と途中に乗り船場の設置洪水等に対応等を申し入れた。毎年のように河床を掘削することは、自然な河床の維持が出来ないことから、釣り人、サケマス産卵床に極めて甚大な被害が考えられるので、現行の計画では工事同意をしないこととしていた。

町、阿賀の里に、早急な対策案の提示を望みたい。(阿賀漁協理事 会協賛)

河道掘削(五十島橋上流)